

令和6年度 授業づくりシート

教科名 自立活動 4 年

単元名	「こばと体操名人になろう！」	
単元の目標	基本的な動きを覚えて身体を動かすことができる。	
児童の実態	A 児	個人情報のため省略
児童の個別目標	A 児	・活動に見通しを持ち、落ち着いて活動することができる。 ・教師の働きかけを受け入れることができる。

○活動内容と具体的な手立て

活動内容	児童の予想される言動	具体的な手立て
・ 始めの挨拶	・ 席を立ち歩くことがある。 ・ 声を出すことがある。 ・ 足を椅子の上に置くことがある。	・ 着席できたタイミングで大いに称賛し、望ましい行動に気付けるようにする。 ・ 足を椅子の上に置くなど姿勢が崩れたときは、言葉をかけたり、姿勢を整えたりしてよい姿勢がわかるようにする。
・ 体幹 体操座り 足をあげる 両手両足をあげる	・ 体操座りは、姿勢をとればできる。途中で姿勢を崩すことがある。 ・ 手や足をあげるができない。	・ 膝を曲げたり、手で抱えたりする姿勢の手本を見せ、体操座りの形を一緒に行う。 ・ 手や足を教師が支えて持ち上げ、様子を見て、支えを放はずしてみる。
・ こばと体操 ひねる 身体の部分 (頭・肩・おなか・膝・つま先・お尻) バランス (片足をあげる)	・ 模倣はできない。 ・ 壁や机を触って、バランスをとることができる。	・ 手本を見せる。 ・ 身体を一緒に動かしながら、姿勢をつくる。 ・ 触る身体の部位を示す。 ・ 足をあげる支援を行う。 ・ バランスがとれず、ふらついたら、教師の肩に手を置かせる。

○展開

時配	活動内容と教師の支援	該当児童
1分	・ 今日の自立活動のメニューをホワイトボードに貼る。 ・ 初めの挨拶をする。 A児 姿勢が崩れた時には、言葉をかけたり、姿勢を整えたりしてよい姿勢がわかるようにする。	
10分	・ 体幹トレーニング 体幹トレーニングのイラストを貼ったり、手本を示したりして、運動のやり方がわかるようにする。 *体操座り *足をあげる *両手、両足をあげる。 *四つ這い *四つ這い(右手・左足をあげる)(左手・右足をあげる) A児 手本を見せる。身体の形を支援をして、整える。 様子を見ながら、支援を減らす。	
8分	・ こばと体操 *身体をひねる *身体の部位(頭・肩・おなか・膝・つま先・お尻)を触る。 *バランス(片足をあげる) A児 体を一緒に動かしながら、どのように動かしたらよいかわかるようにする。	
1分	・ 終わりの挨拶をする。 A児 姿勢が崩れた時には、言葉をかけたり、姿勢を整えたりしてよい姿勢がわかるようにする。	

○児童の授業に取り組む様子

A 児	・ 座っていることができる時間が、少しずつ長くなり、体操座りができるようになった。 ・ 身体の姿勢を作ることを支援すると、四つ這いになることができるようになり、四つ這い歩きもできるようになった。 ・ 片足を上げて靴を脱いだり、履いたりする動きができるようになった。 ・ 繰り返しの活動で見通しがもてるようになり、友達が活動している間は椅子に座って待つことができるようになってきた。
-----	---

グループ全体の反省・課題 等

- ・ 繰り返し練習することで、できるようになったことが増えてきた。少ない支援でできるようになった。何を要求されているかわかるようになった。
- ・ こばと体操のような粗大運動だけでなく、手先を使う微細運動が課題の児童もいるので、自立活動の学習の中に手先を使う微細運動の活動(日常生活に)を取り入れたい。
- ・ 楽しく学習活動に取り組める工夫が足りなかった。